

# 姫路

## 姫路独協大・女子

## 山本隆弘さん

# バレー部コーチに元日本代表



姫路独協大の女子バレーボール部を指導する山本隆弘さん  
＝姫路市上大野7

元バレーボール日本代表の山本隆弘さん(45)＝鳥取市在住＝が9月、姫路独協大(姫路市上大野7)女子バレー部のコーチに就任した。鳥取で過ごした高校時代から親交がある松本慶太さん(51)＝姫路市＝が同部の監督を務める縁で、活動を通3回サポートする。世界トップレベルを肌で知る山本さんの助言を受け、選手たちは技術の向上を実感するなどチームに早くも変化が生まれている。(田中宏樹)

## 旧知の監督が打診的確な指導、チームに変化

山本さんは鳥取市出身で、鳥取商業高校から日本体育大学に進学した。卒業後は強打の長身サウスポーとして国内トップリーグで活躍し、日本代表として北京五輪出場などに貢献。2013年に現役を退いた。

松本さんは同高校でコーチとして山本さんを指導し、現大会に出られない時期もあつ

たが、今年春に1年生9人が入部。松本さんが「もっと高いレベルの指導を受けさせた」と自らコーチ就任を打診したところ、快諾を得た。

「バレーの課題を的確に教えてくれる」と笑顔で話すのは、4年生で前主将の多賀達さん(22)。ブロックの際にネット上に出す手の幅が狭いと指摘を受け、修正すると相手のスパイクが手に当たるところになったという。「味方の守りやすさにもつながり、すごいと思った」と舌を弾ませる。相手陣形を崩すサーブを打てるよう、コートを狙うべき場所にマットを敷くなど練習方法も変わった。チームは24年春のリーグ戦で3部に昇格し、秋には2部上がる青写真を描く。

3年生の小倉梨花さん(21)は「指導されたことを意識して練習に取り組み、試合で発揮できるようにしたい」と意気込む。

山本さんが特定のチームを継続して指導するのは初めてといい、「先を読んでプレーする大切さやチームワークの重要性を伝え、選手が悩みを相談できるアドバイザーのような存在でいたい」と話した。